

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	第二暁愛児園
活動日時	令和6年10月22日(火)
活動参加人数	11名
クラス名(年齢)	すみれ組(1歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動のテーマ

<テーマ>

秋の自然、どんぐり拾いを楽しむ

<テーマの設定理由>

・「どんぐりころころ」の歌を軍手シアターで歌うとどんぐりに興味を示した為、どんぐりを入れるポシエットを手作りし、どんぐり拾いに行く。

2. 活動スケジュール

・秋の遠足に行き、どんぐり拾いを楽しむ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・「どんぐりころころ」の歌や軍手シアターを朝や帰りの会で一緒に歌い、興味を持てるようにする。

・どんぐり拾いに行く前にポシエットを作り、より期待感を持てるようにする。

・虫除けスプレー、着替え、ポシエットに入りきらなかった時の為に入れる袋を用意して散歩に行く。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

遠足で色々などんぐりがある事を知ると、興味を示し、どんぐり拾いを楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

・公園に着き、色々な木の中からどんぐりの木はどれかと質問をすると、どんぐりがたくさん落ちていた所を見つけ、どんぐりの木を知る事ができた。

・小さいどんぐり、大きいどんぐりがある事を知らせると、「大きい！」と言って大きいどんぐりを拾いだす。

・どんぐりの近くに落ちていた殻斗を持ってきて「これは何？」という子ども達に、「どんぐりの帽子みたいだね」と答えると「ぼうしみたい」と嬉しそうに拾い出した子どももいた。

・大きいどんぐりと小さいどんぐりを並べて「おかあさんどんぐり」「あかちゃんどんぐり」と言っていた。

・一緒に落ちていた落ち葉にも興味を示し、拾っている子どももいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・秋の遠足でどんぐり拾いをする為にどんぐりを入れるポシェット製作を行った事で、子ども達がたくさんどんぐりを拾いたいという気持ちになった。

・どんぐりの木に触れ、どんぐりの大きさ、形を知る事ができた。

・落ち葉にも興味を示していた為、落ち葉を山のように集めたり、踏んでみたり、落ち葉を使った製作等も行えるようにしたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	第二暁愛児園
活動日時	令和6年11月1日(金)
活動参加人数	8名
クラス名(年齢)	すみれ組(1歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動のテーマ

<テーマ>

落ち葉拾いをし、拾った落ち葉を使って製作をする。

<テーマの設定理由>

・秋の様々な自然物、落ち葉を使って製作する事を楽しむ。

2. 活動スケジュール

・もみじやいちょう等がある公園へ散歩に行く。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・落ち葉がたくさん落ちている公園を事前に調べておく。

・色々な形の葉っぱがある事を絵本を見せて知らせる。

・絵具、画用紙、パレット、筆を使用し製作を行う。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・色々な形の葉っぱを園に持ち帰り、製作を行う。

<活動中の子供の姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

・葉っぱの色は何色だったかをみんなで話すと赤やオレンジと言う声が多かった為、拾ってきた葉にその色の絵の具を付けて、ペタペタと押して紅葉の木を製作する。

・製作中は葉っぱの模様がつくのを楽しみ、「きれいだね」「大きい葉っぱだね」と言う姿があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

自分達で拾ってきた葉っぱで製作を行った為、普段の製作よりもやりたいという気持ちが強く出ていた。それぞれの製作をみんなで見せ合うととても喜び、嬉しそうな姿が見られた。子ども達がとても楽しく製作に取り組めた為、今後も自然物を使った製作を多く取り入れていきたいと思った。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	第二暁愛児園
活動日時	令和6年12月5日(木)
活動参加人数	10名
クラス名(年齢)	すみれ組(1歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動のテーマ

<テーマ>

落ち葉遊びを通して葉っぱの色の変化や感触の違いに気付く。

<テーマの設定理由>

落ち葉を使った製作をした後から落ち葉に対して親しみを持つようになった為、実際に見たり触れたりして、落ち葉での感触遊びを楽しむ。

2. 活動スケジュール

- ・散歩に出かけ、紅葉の木々を見て、葉っぱの色の変化に興味を持つ。
- ・落ち葉を集めてシャワーのように降らして遊びながら、落ち葉の感触を味わう。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・以前落ち葉拾いに行った公園で、たくさんの落ち葉に触れて遊ぶ事を楽しむ。
- ・落ち葉の中に大きな石等危険物が混ざっていないか確認してから遊び始める。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

葉っぱの色や形に興味を示し、落ち葉に触れて遊ぶ事を楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

・初めに保育者が落ち葉での遊び方の見本を示した。子ども達も真似をして葉っぱをかき集めてシャワーのように降らしたり、落ち葉を踏んだりして音が鳴るのを楽しんでいた。

・落ち葉で遊んでいる途中に子どもがまだ木から落ちていないもみじを見つけ、「黄色だ！」
「〇〇くんのは赤だね」と友達同士で話したり、保育者に伝えにきたりしていた。次第にみんなが集まり、順番にもみじを見て葉っぱの色がそれぞれ違う事に気付き、「きれいだね」と友達や保育者と気持ちを共有していた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

どんぐり拾いの時から少しずつ落ち葉に対する興味はあったが、実際に遊んでみると、自らたくさん拾い集めて遊び、「音が鳴る」「赤だね」と子ども達の方から気づきを発信していた。又、普段は自然物に触れる事を嫌がる子も、友達の楽しそうに落ち葉で遊ぶ姿を見て、落ち葉に自ら触れて遊ぶ事ができていた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	第二暁愛児園
活動日時	令和7年3月10日(月)
活動参加人数	10名
クラス名(年齢)	すみれ組(1歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動のテーマ

<テーマ>

たんぽぽ、オオイヌノフグリの花を観察する。

<テーマの設定理由>

暖かくなり、どんな花が咲き出したかを植物図鑑や絵本で調べ、興味を持った。

2. 活動スケジュール

春になり、花が咲いている多摩川へ散歩に行く。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・多摩川にはどんな花が咲き出したのかをみんなで話してみる。又、植物図鑑や絵本を見せて興味を持てるようにする。

・細かい花の観察ができるようデジタル顕微鏡を持っていく。花が上手く観察できなかった時に室内でも観察するため、草花を入れるビニール袋を用意する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

春の花が咲いている多摩川へ散歩に行き、たんぽぽやオオイヌノフグリの花を観察する。

<活動中の子供の姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

・多摩川に着くとすぐに水色の花が咲いていて、子ども達が「小さい花だね」「青色だね」と言ってきた為、顕微鏡で観察する。「棒みたいなのがあるよ」と言っていた為「おしべって言うんだよ」と知らせると「もっと見る」と近くで見始めた。

・たんぽぽの花は部屋の中で観察をすると粒のようなものが見え、「つぶつぶしてるよ」「黄色だね」ととても興味を持って見ていた。テーブルごと順番に見た為、戸外よりも良く見え、更に集中して「これは？」と質問しながら見ていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

図鑑を見て興味を持った物を実際に見ることが出来て嬉しそうにしていた。戸外での観察は難しく、帰園してから再度観察を行うと、より集中して不思議そうに見ていた。見えた粒は花粉である事を分かりやすく伝えると「ええ！そうなの！」と新発見で楽しそうな表情をしていて良かった。1歳児には難しい活動内容だったが、全員が「面白かった」「またやろうね」と話をしていて良かった。